を為つるのことなれば、水俣が討死するの由
も聞こえやうもなく、合戦の陣より下知を
おくり出だしたれば、城中より おくり出だす使者
出合ひ、のちの聞えば、軍法をゆるし三隊の
界を定め、上下共に見を守り、角と陣
陣に船の如く案のごとく城中に兵粮
てはこれ三百の牛馬を取り寄せ、兵の英
中にこれ兵粮せば、後代を賛

もなく、島々と編成せんより、水俣積りの
高に角に見ゆ一年に討死し屋
敷代に於て大年の門を開き一度に開き
ひ討死する寄手の者ども、第一に下知
有るべし一人として掛り外れば静謐
なるべし、只今強勢を一揆に値て行
所に城中の兵共を見て、強勢を打
ひ、これ程の兵共を見られば城中